

☆学習活動の工夫:発問の工夫、表現活動の工夫、板書を生かす工夫などを通して、児童の学習意欲を高め、話し合い活動を活発にするなどして、道徳的価値についての考えを深め、道徳的実践力を高めたい。

		個性の伸長 / 向上心・個性の伸長			親切、思いやり / 思いやり、感謝		
		道徳の内容	教材名	学習活動の工夫	道徳の内容	教材名	学習活動の工夫
I 期	小1	A-(4) 個性の伸長 自分の特徴に 気付くこと。	ぞうさんのおはな	紙芝居を用いて児童の心に染み入るように語り、登場人物の気持ちに共感できるようにする。ぞうさんになって役割演技をすることで、象の気持ちの変化を捉えやすくする。	B-(6) 親切、思いやり 身近にいる人に 温かい心で接し、 親切にする。	はしの上のおおかみ (文溪堂・東京書籍)	教師がくま役、児童がおおかみ役になり、役割演技をする。演技後、おおかみ役の児童にどんな気持ちだったかを聞く。また、見ていた児童にもおおかみの気持ちを問う。
			こぐまのらっぱ(文溪堂)	こぐまがらっぱを吹く様子を動作化する。動作化により、うまくいかずやめようと思うこぐまの気持ちや、演奏会で成功したときのこぐまの満足感などを生き生きと捉えられるようにする。		ぼくのはなさいたけど (東京書籍)	紙芝居を用いて児童の心に染み入るように語り、登場人物の気持ちに共感できるようにする。花が少なくなっていくことを実際に見せて、トトの置かれた状況を理解させることで、トトの思いやりあふれる優しい気持ちを捉えやすくする。
			ぼくのわたしのじまん大会 (日本標準)	がんばったこと、できるようになったことを紙に書き、「じぶんのよいところ」をみんなにおしえる「ぼくのわたしのじまん大会」をする。「いいね、いいね、すてきだね。」の言葉で、お互いのよさを認め合う。		ぐみの木とこり (文溪堂)	3人一組になって、お話の役割演技をする。3者の立場から自由に会話することを通して、相手のことを思いやり、親切にしようとした小鳥の気持ちに共感していく。親切にすることの気持ちよさに気付いていく。
	小2	個性の伸長 自分の特徴に 気付くこと。	ぼく(東京書籍)	「じぶんへのしょうじょう」の活動を行い、自分のよさに具体的に気付いたり自分の大切さを十分味わえるようにする。賞状を発表し合うときは、お互いのよいところを認め合うようにする。		くまくんのたからもの (東京書籍)	「大事な宝物を簡単に捨てられたのかな。」「同じような宝物はもう見つからないかもしれない。」などの補助発問から、宝物を捨てるかどうかで迷い揺れ動いているくまくんの気持ちを深く考え、思いやりの心の大切さについて気付くようにしていく。
			じゃがいもの歌 (東京書籍)	「友達の良いところを見つけてプレゼントしよう。」という働きかけのもと、友達の良いところ、頑張っているところを見つけて付箋に書き、相手のワークシートに貼っていく。それを読んで、自分のよいところに気付く、発表する。		コメント君をりっぱな盲導犬に (文溪堂)	パピーウォーカーの役割を知らせるビデオなどを見て、具体的に役割を知らせる。盲導犬と一緒に生活をしている方の様子などの写真を見ながら資料を読み進め、「わたし」がどんな気持ちでパピーウォーカーになろうと思ったかを考えられるようにする。
			リフティング100回	事前のアンケートで「友達のよいところ探し」を行い、発表する。保護者などからの児童のよいところや頑張っているところを書いた手紙を受け取り読む。		一さつのおくりもの (東京書籍)	読み聞かせを聞いたり資料の絵を見たりして、資料の世界に浸る。クマタが「貝がらのおくりもの」を贈るまでの気持ちを、挿絵を手がかりに考え、ワークシートに書く。
小4	個性の伸長 自分の特徴に 気付くこと、よい所 を伸ばすこと。	うれしく思えた日から	隣の友達のよいところ、頑張っているところを見付け、さらに、向上するための言葉を考える。おまじないの言葉を伝え合った後、おまじないの言葉をもらってどんな気持ちになったかをワークシートに書く。	なにかお手つだいできることはありませんか? (東京書籍)	掲示してある場面の写真を見ることで、状況を捉えやすくする。なかなか声が出ない「ぼく」の心情に迫り、「なにかお手つだいできることはありませんか?」と言えない心の中を考える。		
		あこがれのアナウンサー	自分の得意なことを活かす「名人になろう」の取組を行う。自分の長所でどのようなところを伸ばしたいか考え、ワークシートに記入する。	フィンガーボール (文溪堂)	掲示してあるねらいに関わる2枚の絵(ボウルの水を飲んでいる絵)を見る。資料を読み進むに従って、同じ行為の根拠となる場所の違いに気付けるようにする。女王がボウルの水を飲んだわけを考え、そのわけが「相手を気遣う思いやり」であることに気付く。		
II 期	小5	A-(4) 個性の伸長 自分の特徴を 知って、短所を 改め長所を伸 ばすこと。	感動したこと、それがぼくの作品 (東京書籍)	ピカソの作品の写真屋レプリカを用意し、ピカソの作品に触れることで、ピカソが特別な人ではなく信念と努力で個性を開花させた人であることに気付く。	B-(7) 親切、思いやり だれに対しても 思いやりの心をも ち、相手の立場に 立って親切にす ること。	最後のおくり物 (私たちの道徳)	ジョルジュじいさんがロベアヌに渡した「最後のおくり物」とは何だと思えるか。また、そのように考えた根拠を明らかにし、自分の考えをワークシートに書く。その後、おくり物がもたらした効果やジョルジュじいさんの気持ちの変容について話し合う。
			マンガ家になろう-手塚治虫 (文溪堂)	人物紹介だけでなく、手塚治虫さんの作品を見せる。アニメーションだけでなく、マンガを用意する。また、資料の範読を聞いて、心に残ったところや主人公の気持ちを考えてみたいところを発表させ、発問を組み立てる。		くずれ落ちだんボール箱 (東京書籍)	「わたし」への共感に沿って発問を構成し、思ったことを活発に発言して話し合いを進める。
			あこがれのパティシエ (東京書籍)	個性や長所を生かしている将来の自分を想像しながら自分自身への手紙を書くようにし、自分自身を深く見つめ、今まで気付かなかつたり、漠然ととらえていたりした長所をはっきり意識する。		レジにて (文溪堂)	中心発問で、自分がじっくり考えた後、周りの友達と自由に話し合う時間を設け、意見交換する。第3発問で、「私」と「男の人」の役に分けて役割演技することを通して、親切に対しての価値観を深める。
	小6	個性の伸長 自分の特徴を 知って、短所を 改め長所を伸 ばすこと。	わたしは、わたしらしく-熊田千佳慕 (文溪堂)	事前にワークシートに自分の特徴について考えを深めておく。身体・性格・技術・能力・趣味嗜好など、多くの観点について長所だけでなく短所も考えるようにし、導入や展開後段で生かす。		車いすでの経験から (東京書籍)	資料だけで考えるよりも、自分のこととして考えやすくするために、実物の車いすを用意する。車いすに乗ったり持ち上げたりする体験を通してその不自由さや重さを発表する。
			僕の性格をつくった友人 (中学生の道徳1 あかつき)	自分の欠点や短所ばかりを気にするのではなく、自分の優れた面を見いだす「眼」をもち、向上心をもつ態度を育てる。友人との会話を通して新たな自己を見いだした大林さんの作品を通し、より大林さんの気持ちを深く実感できるよう発問を工夫する。		乗り物の「優先席」について	詩「夕焼け」やWikipedia「優先席の是非」を使って、自己の体験を振り返るとともに、乗り物の「優先席」の是非や思いやりのある社会について、意見の交流をはかり、各自の生き方を考える態度を育てる。
			今の私 中一の自分 (私たちの道徳 文部科学省)	現在の自分をふり振り返り、ワークシートに記入する活動を取り入れることで、これからの1年間の学校や家庭、社会での生活について見通しや目標をたてるための材料とする。		夜のくだもの屋 (中学生の道徳1 あかつき)	「ありがとう」という言葉にふくまれる感謝の気持ちを、実体験から想起させ、発表を行うことで、感謝の気持ちの連鎖をはかり、感謝と思いやりの心で人と接しようとする心情を育てる。
III 期	中1	個性の伸長 自己を見つめ、 自己の向上を 図るとともに、 個性を伸ばして 充実した生き方 を追求すること。	自分を見つめ伸ばして 調和のある生活を送る (私たちの道徳 文部科学省)	理科や保健体育、技術・家庭などの教科との関連付けた活用が考えられる。書き込み欄やグラフの資料、人物探訪など多方面から、望ましい生活習慣を身に付け心身の健康を図り、節度を守り節制に心がけ調和のある生活をするための大切さに気付かせる。	B-(6) 思いやり、感謝 思いやりの心をも って人と接する とともに、家 族などの支えや 多くの人々のぜ んいにより日々 の生活や現在の 自分があること に感謝し、進 んでそれに え、人間愛の精 神を深めること。	「旗」 (中学生の道徳1 あかつき)	中心発問で、見舞った友達がクラスに戻ってから旗を屋上に上げるまでの経緯を考えさせ、班ごとに資料には描かれていない場面のシナリオづくり、発表をさせることによって、「思いやり」の本質について考える態度を育てる。
			虎 (中学生の道徳2 あかつき)	理想と現実のギャップに思い悩むことを自分の体験例などと比較し、八幡の気持ちに迫ることができるよう、発問によって考えを深めさせる。自分を見つめ自分のよさを生かし伸ばすために前向きに取り組もうとする意欲を育てる。		「先生にビールやっておくれ」 (中学生の道徳2 あかつき)	資料を読むときのポイントや抽象的概念を理解しやすくするために発問等を工夫する。自分自身の体験や考えと登場人物の行いや人生観を重ねて考えることで自分もまた温かな関係の中で生きていくことに思いを致させ、思いやりの心をもって行動できる態度を育てる。
			今の私 中二の自分 (私たちの道徳 文部科学省)	現在の自分をふり振り返り、ワークシートに記入する活動を取り入れることで、これからの1年間の学校や家庭、社会での生活について見通しや目標をたてるための材料とする。		軽いやさしさ (中学生の道徳2 あかつき)	若者たちの思いをグループで話し合ったり、クラスで意見の交流をしたりして、真の思いやりとは何かを考えさせる。相手の心に負担をかけないやさしさを心がけ、思いやりの心をもって行動できる態度を育てる。
	中2	個性の伸長 自己を見つめ、 自己の向上を 図るとともに、 個性を伸ばして 充実した生き方 を追求すること。	人間であることの美しさ (中学生の道徳2 あかつき)	リオのオリンピック、パラリンピックや他の興味あるスポーツでの話題も加えて、印象に残った場面や、自分の生活の中で目標を達成した経験をふり返ることで、成就感や満足感が希望と勇気を生み、目標に向かう努力の動機につながることも考えさせる。		思いやりとは…… (東京都道徳教育教材集 特別の教科道徳 移行措置対応版)	提示された状況から、自分だったら何を考えどう行動するかを考えさせる。それをもとに違いや多様さを構造的に示した板書を見ながら「思いやりの心をもっているか」「思いやりのある行動をとっているか」について考えを深め、思いやりの心をもって人に接していく態度を育てる。
			小さな手鏡 (中学生の道徳3 あかつき)	筆者のいう「手鏡」とは自分にとってどんなものなのかを、基本発問から中心発問へと進むことで気付かせていき、自己理解を深め、自身のよさや個性を伸ばし、充実した生き方を追求しようとする道徳的態度を育てる。		月明かりで見送った夜汽車 (中学生の道徳3 あかつき)	学校が舞台となる話により身近なことから関心をもたせる。中心発問によりすべての人たちのあたたかい心をつなぐことで、思いやりの根底にある人間への深い理解と共感を認識し、人間愛に満ちた道徳的心情を育てる。
			今の私 中三の自分 (私たちの道徳 文部科学省)	現在の自分をふり振り返り、ワークシートに記入する活動を取り入れることで、これからの1年間の学校や家庭、社会での生活について見通しや目標をたてるための材料とする。		ある元旦のこと (中学生の道徳3 あかつき)	身近な事例を思い起こすことを通して、自分たちが気付かないところでも支えてくれる人がいることに気付く、周囲の人々に思いやりの心をもって接することや感謝の心をもつ態度を育てる。
中3	個性の伸長 自己を見つめ、 自己の向上を 図るとともに、 個性を伸ばして 充実した生き方 を追求すること。	自分で考え実行し責任をもつ (私たちの道徳 文部科学省)	書き込み欄や各ページの文章を活用し、行動の背景にあるべき配慮について生徒に自覚を促し、自律的な生き方について内省する機会をつくる。人物探訪、この人のひと言を読みさらに考えを深める。ネット将棋を読んで、どのような心がけが必要なのかについて話し合う。	温かい人間愛の精神と 思いやりの心 (私たちの道徳 文部科学省)	さまざまな資料から思いやりの意味を考えたり、その実態について考える。若田さんのメッセージからは日本人の国民性として称賛されていることを捉えることができる。最後に思いやりの心について自分なりに大切にしたいことを考えて発表する。		